

■平成30年度ポスターセッション発表の概要

No.	グループ	発表団体	ポスターのタイトル	ポスターの概要
1	①	熊谷市ムサシトミヨをまもる会	世界で熊谷だけに生き残ったムサシトミヨ!	・熊谷市ムサシトミヨをまもる会の報告・活動紹介 ・生息地の紹介 ・地区内の3校の繁殖活動 ・学習会
2	①	大山拓朗・鈴木享子・吉富友恭(東京学芸大学 吉富友恭研究室)	荒川水系秋ヶ瀬及び黒目川におけるアユの回遊履歴	荒川水系秋ヶ瀬と黒目川で2018年に採捕されたアユの耳石に対してPIXE分析を行い、回遊履歴等の生態的特徴を考察した。分析の結果、サンプルから読み取れた傾向やそれをもたらしたと推測される環境要因について紹介する。
3	②	千葉工業大学 生物圏環境研究室(新飯田遥菜・堂山剛司・千賀脩太・吉田航平・村上和仁)	房総半島における生物指標による河川環境評価	房総半島を流下する河川を対象として、生物指標を活用した河川環境評価を実施、房総半島における河川環境マップを作成すると同時に、千葉県の生物環境情報の構築を目指している。
4	①	立教新座高等学校(立教新座高等学校生物部)	学校周辺を流れる川の調査	生物部では2013年より学校周辺の川を調査している。黒目川を中心に水質調査、生物調査を行った結果を発表する。
5	②	比企の川づくり協議会(渡辺 仁)	比企の川づくり協議会の活動	比企の川づくり協議会は、1979年2月設立以来、比企流域の住民、河川管理者、市町村等のパートナーシップを構築し、相互の活動や事業の正しい理解を通じて、自然と文化に根ざした河川見学会・意見交換会、環境学習・生きもの調べ、川遊び、クリーンアップ作戦などの活動を行っております。
6	①	原市沼を愛する会(飯坂 陽治)	原市沼蓮池/古代蓮の育成・蓮池の管理活動	原市沼蓮池で、数多くの美しい古代蓮を咲かせるための蓮根の移植、施肥、害虫駆除、ザリガニ退治、水管理を行ない、又、来場者が安全で気持ちよく楽しんで頂けるよう土手の補修、遊歩道の整備、雑草の除去等を行っている。
7	②	日本医療科学大学環境調査隊	「わくわくアランド」実践報告	日本医療科学大学環境調査隊(サークル)はこれまで高麗川流域に生息するアリ類を調査してきた。本発表では、今年度8月に小学校高学年を対象に実施した環境教育プログラム「わくわくアランド」について紹介する。
8	①	中央大学 河川・水文研究室(合田明弘・濱野優至・新澤まゆ子)	“水循環都市東京”の実現に向けた取り組み	中央大学、河川・水文研究室(山田正教授)は、水に関するあらゆることを研究の対象とする研究室です。ポスター発表では、“水循環都市東京”の実現に向けて、本研究室が取り組んでいる研究内容(玉川上水、江戸城外濠、日本橋川)を中心に発表します。
9	①	栄東高等学校理科研究部(小松 純大)	芝川の歴史を考察する	私達は学校の横を流れる芝川について1988年から調査・研究を行ってきた。その中で水質・生物に対する調査・研究は行われてきたが、芝川がどのように形成されたのかなどの歴史に対するものは行われてこなかった。そこで、歴史面に着眼点を置き調査・研究を行った。
10	②	大木航史・吉富友恭(東京学芸大学 吉富友恭研究室)	官学連携による河川防災教育カリキュラムの開発と評価 —児童の水害意識の捉え方の変容に着目して—	荒川や江戸川の最下流に位置する江戸川区は、上流に広大な流域を有しているため水害発生時には大量の水が河川から流れ出ることが危惧される。区内の小学校で実践した河川防災教育カリキュラムの内容および実践前後の児童らの防災意識の変容の結果を報告する。
11	②	(公社)日本水環境学会関東支部	公益社団法人 日本水環境学会 関東支部	日本水環境学会関東支部では、良好な水環境の保全及び創造、並びに学術文化の発展を目指し、関東地区(栃木県、群馬県、新潟県、茨城県、埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、長野県、山梨県)における水環境に関する分野の学術的調査・研究の推進及び知識の普及のための活動を行っています。
12	①	埼玉県環境科学国際センター	埼玉県環境科学国際センターの活動紹介	埼玉県環境科学国際センターは、学習施設と研究所が一体となった環境科学の中核機関です。当センターの環境学習に関する講座やイベントの紹介、水環境に関する調査研究事例の紹介を行います。
13	①	埼玉県立川の博物館(共同発表者 坂戸市在住 渡辺孝平)	農業用水路に落ちて脱出できなくなった爬虫類・両生類	2018年10月、坂戸市の高麗川に通ずる農業用水路の溜め枒に、脱出できず身動きが取れなくなっている多数の爬虫類、両生類を発見し、救出した。異常な数であったので、数回調査をおこなったが、同じように脱出できず身動きが取れなくなっている多数の爬虫類、両生類が確認された。その構造の問題点、原因、対策案を発表します。
14	②	海と日本プロジェクトin埼玉県	海と日本プロジェクトin埼玉県の活動紹介	海と日本プロジェクトin埼玉県の概要、また今年度の活動内容等を紹介し、県民の皆様には海を身近に感じてもらい、未来の海について「自分ごと」と捉えてもらえるよう活動しています。
15	②	埼玉県県土整備部水辺再生課	川の国埼玉 水辺で乾杯の紹介	7月7日七夕の夜、県内の水辺に人々が思い思いに集まり、午後7時7分に一斉に乾杯を行い、乾杯写真を専用のウェブサイトへ投稿してもらった取組である「川の国埼玉水辺で乾杯」を紹介する。
16	①	戸田の川を考える会	ボートコースの水草の生態	・戸田ボートコース内の水草の生態 ・上戸田川の川づくり
17	②	元荒川の水辺に親しむ実行委員会	元荒川カヌー下り	元荒川は都市部を流れる数少ない自然型河川です。その自然型河川をいつまでも残したいと思い、元荒川に親しんでいただくこと、カヌーを活用したにぎわいづくりに取り組んでおります。
18	①	リバーライズ	自然石積み工法の研究	・自然石積み工法の研究
19	①	獨協大学経済学部国際環境経済学科 米山ゼミ「伝右川再生に向けた支援プロジェクト」チーム	伝右川の再生に向けた活動報告と今後の取り組み	大学のすぐ横を流れる伝右川の再生に向けて、水質調査やカヌー体験会、小学生を対象として行った環境教育など、私たちが取り組んできた活動を紹介します。水質調査については得られたデータについて報告します。
20	②	鈴木享子・神村佑・吉富友恭(東京学芸大学 水辺の学びデザインプロジェクト WaSIT)	水辺体験のツアー化と賑わいの創出	大学生が水辺をテーマにした独自のツアーを企画・体験・発信する「水辺の学びデザインプロジェクトWaSIT」。「紙すき体験」や「フォトジェニックツアー」、「築地市場の見学」、「お湯ベツアー」など、活動の様子を紹介する。
21	①	立正大学地理学科原美登里研究室(原美登里・飯山和也・菅野大夢・園田航星)	水環境研究を通じた熊谷市星宮地区との地域連携	立正大学地理学科原美登里研究室は平成27年度以来、星川の水質調査、河川景観調査、生き物調べ、周辺の地下水調査などに取り組み、星宮地区の地域資源の発掘と地図化に関する活動を実施してきた。今回はその活動のあらましを紹介する。
22	②	特定非営利活動法人越谷ふるさとプロジェクト	川をめぐる子ども体験バスツアー	越谷市との共催事業として、3年目を迎えた事業です。越谷市と川でつながる地域を訪ね、埼玉県と越谷周辺地域の水辺の環境を体験的に学ぶワークショップを行っています。今年度は、越谷との生き物比べや石の図鑑づくりの内容で、埼玉県立川の博物館を訪問しました。
23	②	千葉工業大学文化会環境科学研究会(増田涼・小林新・田中祥友・高木結花・村上和仁)	印旛沼における水質および水環境健全性指標調査(2012-2017年度)	千葉工業大学文化会環境科学研究会は千葉工業大学の文化会サークルに属している。主に印旛沼を始めとする千葉県内の水環境を調査対象として活動している。本稿では6年分(2012年から2017年)の印旛沼の水質および水環境健全性指標の調査結果を発表する。
24	①	笹目川の環境を守る会	笹目川の環境保全	多自然川づくりなどにより、笹目川の水環境は徐々に改善されている。笹目川の貴重な自然環境を保全し、住みよいまちづくりを推進するため、河川の清掃活動、啓発活動などを行い、水辺の環境保全の重要性を訴えている。
25	②	獨協埼玉中学高等学校サイエンス部	新方川の水質調査 ～時間変動、季節変動、経年比較より明らかになった環境指標として新方川の可能性～	獨協埼玉中高サイエンス部では、学校の隣を流れる新方川について過去4年にわたり水質調査を行ってきた。透明度、pH、溶存酸素量の時系列変化とその結果、明らかになったことを発表する。
26	①	綾瀬川を愛する会	“綾瀬の森”から“川口綾瀬の森自然保護区”へ	埼玉県、川口市、町会長、学校長他、埼玉河連と私たちNPOが一堂に会して綾瀬川堤防の舗装についてプロジェクトを持った。その結果、上流から綾瀬の森の入り口までは舗装になったが、綾瀬の森から草加市境までは現在の土の道で合意した。綾瀬の森は子どもたちが自然を学ぶ場となり、大人には憩いの場を提供する人工河川林となった。この綾瀬の森を草加市境まで延長し“川口綾瀬の森自然保護区”としたい。
27	②	草加パドラーズ	綾瀬川クリーン大作戦	①カヌーで綾瀬川の浮遊ゴミを回収しています。活動日は、水、土、日午前中です。②カヌーのスポーツ文化の向上に努めています。夏休みカヌー教室や親子カヌー体験談を実施しています。③行政や他団体と協力して安全で親しめる水辺を造ります。
28	②	荒川クリーンエイドフォーラム(林 美恵子)	荒川クリーンエイド埼玉会場2018	源流の秩父市から東京湾河口まで荒川クリーンエイド2018が展開されました。その埼玉県内会場を子供たちから大人までいっしょに汗かいて多彩な参加で紹介いたします。

No.	グループ	発表団体	ポスターのタイトル	ポスターの概要
29	②	荒川夢クラブ(林 美恵子)	小中学校の川体験は?!	小学生4～6年生19名が夏休み荒川体験学習で清流黒目川で川体験、中学生1～3年生15名が荒川体験ボランティアで干潟のゴミ拾い、水質検査等、川体験を紹介します。
30	①	入間川環境保全支援委員会	平成31年度 武州・入間川プロジェクト助成団体募集	「武州・入間川プロジェクト」とは、武州ガス株式会社、国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所、公益財団法人埼玉県生態系保護協会が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行っている市民団体等を支援するための活動助成です。

